

令和5年度 第2回企画展示

桶川から知覧へ

—第七九振武隊隊員の記録—



展示期間：令和6年2月11日（日）から
令和6年5月12日（日）まで
開館時間：午前9時から午後4時30分まで
入場料：無料



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→

「柏原」バス停下車 徒歩5分

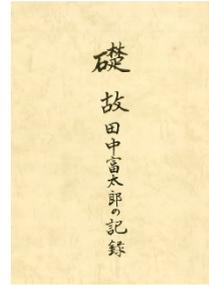
○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分

県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 特別操縦見習士官 田中富太郎

第七九振武隊は桶川で特別攻撃の訓練をしていた部隊です。第七九振武隊隊員の一人である田中富太郎氏についてはその手記や生前の様子いしづえを家族が『礎 故田中富太郎の記憶』という書籍に記録しています。

富太郎氏は1923(大正12)年群馬県坂上村大戸に商家『田中屋』の四男として生まれます。中之条農業学校を卒業後、税務署職員、明治大学を経て、20歳で特別操縦見習士官になります。



冊子『礎』



青年時代の富太郎氏

II. 桶川での日々

1945(昭和20)年3月、富太郎氏は桶川分教場にて特別攻撃(特攻)の訓練を受けていました。このころ富太郎氏は多くの手記や手紙を残しています。手記や手紙には任務への決意を固める様子が見える一方で、家族への想いが切々とつづられていました。

出撃の日が迫る中、富太郎氏は桶川での兄との面会をし、故郷で家族との最後の時間を過ごします。



兄と面会した旅館

III. 桶川から知覧へ

1945(昭和20)年4月5日に桶川を出発した富太郎氏かがみはらは途中、岐阜県の各務原飛行場や山口県の小月飛行場おづきを經由しながら、4月7日に鹿児島県の知覧飛行場へ到着します。知覧では第一〇七振武隊と同じ三角兵舎に入り、出撃までの時を過ごします。

同年4月16日、富太郎氏は第七九振武隊の仲間とともに、沖縄へ向けて出撃。帰らぬ人となりました。



知覧から出撃する特攻隊

関連企画

○職員による企画展示の解説

開催日：令和6年2月23日(金・祝)、3月20日(水・祝)、4月29日(月・祝)、5月3日(金・祝)、5月4日(土・祝)、5月5日(月・祝)

時間：午後2時30分より(所要時間：約30分)

定員：各回20名(先着順)

費用：無料

申込み：開催日前日の午後5時までに電話、メールまたは直接桶川飛行学校平和祈念館窓口にて申し込み。